

SDGsにつながる

水源地域ウォーキング&サイクリング

今回は、蓮ダム周辺と櫛田川流域でウォーキングやサイクリングを楽しめるコースをご紹介します。ちょっとお出かけして汗を流したり、普段目にしないものに触れたりすることが、SDGsの目標の達成にもつながります。SDGsとは、持続可能な開発のために、2030年までに達成すると決めた国際的な目標のこと。皆さんもSDGsを意識しながら、こちらのコースに挑戦してみませんか？



SDGs

目標3

すべての人に健康と福祉を

長引く感染症対策下で、少し運動不足になっていませんか。「密」を避けて楽しめるウォーキングやサイクリングは、健康づくりのきっかけに最適です。SDGsの目標3では、非感染性疾患による若年死亡率を、予防を通じて減少させることも掲げられています。適度な運動によって生活習慣病を予防することが、SDGsの取り組みにつながります。



蓮ダム周辺

サイクリングコース

途中でダム見学やお花見も楽しめるように、自転車で回るコースです。カモシカなどの野生動物に出会うこともあるかもしれません。



津本公園

ダム湖のほりにある公園で、桜の名所です。



蓮ダム

事前予約いただければ、ダム見学もできます。ダムの成り立ちや防災操作について解説したパンフレットも用意しています。

(ダム見学時間/平日9:00~15:30)



蓮ダム管理所

START/GOAL

お車の場合、管理所または津本公園の駐車場に停めて、スタートしてください。
※管理所は平日のみ開場



- 枯淡の滝 (二の滝)
- 紅蓮の滝 (三の滝)

もりの山桜

推定樹齢280年の山桜が見られます。



黒滝神社

国道166号線沿いにある神社です。県内最大級の杉が御神木で、途中で2本に分かれているため「夫婦杉」と呼ばれます。



木場公園

5月に花を咲かせる、ナンジャモンジャの木があります。



※駐車場は解放されていないことがあります

SDGs

目標11

住み続けられるまちづくりを

櫛田川流域は昔から伊勢湾台風をはじめ多くの水災害に見舞われていました。その治水を目的のひとつとして建設されたのが蓮ダムです。SDGsの目標11では、災害による被災者数を大幅に減らすこと、そのために災害に対する強靭さ(レジリエンス)を目指す政策・計画の実施などが提起されています。蓮ダムでは随時見学を受け付けており、建設の経緯や防災操作について発信しています。ぜひお立ち寄りください。



礫石

櫛田川の流れに鎮座する石。天照大神が、伊勢国と大和国の国境を決めるために投げ入れたと伝えられています。



水屋神社

推定樹齢1000年の大クスや、国歌「君が代」にも歌われる「さざれ石」が見どころ。



櫛田川上流を歩く

ウォーキングコース

“国分け伝説”の逸話が残る史跡が見どころ。旧和歌山街道をたどる2時間程度のコースです。ショートコースとロングコースが用意されていて、コンディションや目的に合わせて選べます。



櫛田川

コースのいたるところで、きれいな櫛田川の流れを見ることができます。



SDGs

目標15

陸の豊かさも守ろう

自然のなかに身を置いてみると、森林の心地よさや、そこに住む生物をぐっと近くに感じることができます。SDGsの目標15では、様々な生物が生きる山地生態系の保全を確実に行うことが述べられています。ウォーキングやサイクリングをしながら目に触れる、様々な植物や風景から、生態系を守る大切さをまずは実感してみましよう。

